

分野		科目名		配当年次		開講期	
専門分野		母性看護学方法論Ⅱ		2 年次		後期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1 単位 (30 時間)		分娩期 10 時間		助産師		有	
		産褥期 10 時間		大島ゆかり		有	
		新生児期 10 時間		大島ゆかり		有	
授業の概要		1) 分娩期にある対象の身体的・心理的特徴を理解し、持てる力を引き出しながら、安全で安楽な出産に繋げるための看護を学ぶ。 2) 産褥期・新生児期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子が健康的に過ごすための看護を学ぶ。					
到達目標		<分娩期> 1) 分娩のメカニズムが理解できる。 2) 産婦の身体的・心理的特徴を踏まえた看護が理解できる。 3) 分娩期に起こりやすい異常と看護が理解できる。 <産褥期> 1) 産褥の身体的変化が理解できる。 2) 褥婦の心理的・社会的特徴を踏まえた看護が理解できる。 3) 産褥期に起こりやすい異常と看護が理解できる。 <新生児期> 1) 新生児の胎外生活の適応過程と生理的特徴が理解できる。 2) 新生児の特徴を踏まえた看護が理解できる。					
授業計画		No.	授業内容			授業方法	備考
		1	分娩のメカニズム			講義	助産師
		2	胎児の健康状態			〃	
		3	産婦の身体的・心理的・社会的特徴			〃	
		4	分娩期に起こりやすい異常と看護			〃	
		5	安全・安楽な分娩に向けた分娩期の看護と持てる力を引き出す援助			DVD・講義	
		6	産褥の身体的変化①退行性変化			講義	大島
		7	産褥の身体的変化②進行性変化			〃	
		8	褥婦の心理的・社会的特徴			〃	
		9	産褥期のアセスメントと看護			GW	
		10	産褥期に起こりやすい異常と看護			〃	
		11	新生児の出生直後～胎外生活への適応過程			講義	
		12	移行期以降の生理的特徴①摂取―自己化			〃	
		13	移行期以降の生理的特徴②排出			〃	
		14	新生児の看護①出生直後の看護			GW	
		15	新生児の看護②移行期以降の看護			〃	
評価		筆記試験 100 点 分娩期 (30 点)・産褥期 (35 点)・新生児期 (35 点)					
参考文献		1) 石村由利子. 根拠と事故防止から見た母性看護技術. 第 3 版. 医学書院. 2020. 2) 平澤美恵子. 写真でわかる助産技術. アトバンス. インターメディア. 2016. 3) 太田操. ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程. 第 4 版. 医歯薬出版株式会社. 2024.					
備考							